

令和5年度 事業報告書

事業名	脱・温暖化！市民総ぐるみ推進キャンペーン	新規・継続区分	継続
事項名	脱・温暖化！市民総ぐるみ推進キャンペーン	開始年度	平成30年度
担当部署	広島市環境局温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 国は、2015年6月に、2030年度の温室効果ガス排出量（以下「排出量」という。）を2013年度と比較して26％削減するという目標を掲げ、その達成に向けて「COOL CHOICE」を旗印に国民運動を展開すると公表し、以後、国民運動「COOL CHOICE」を強力に推進している。 - こうした中、広島市では、国が掲げる排出量削減目標等を踏まえて、令和5年3月に、本市の目指すべき姿や排出量削減目標を掲げた「広島市地球温暖化対策実行計画」（以下「実行計画」という。）を改定した。 - この実行計画には、国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、呼応する取組として、新たに「脱・温暖化！市民総ぐるみ推進キャンペーン」を展開することを位置付けている。このキャンペーンは、地球温暖化問題に対する市民一人一人の価値観の変革を促し、環境に配慮した行動の変革へとつなげることを目的としたものであり、本市が実行計画に掲げた排出量削減目標達成に向けた重要な施策の一つである。 - 排出量を削減するためには、徹底した省エネルギー対策が必要である。平成28年度に実施した市民意識調査の結果では、省エネルギーの取組について、「常実践している」と回答した人は28.2％であった。これを踏まえ、「常実践している」と回答した人の割合を令和9年度に60％に高めることを目標とし、令和5年度においては、34％を目標値とした。 【参考】本市の実行計画に掲げた温室効果ガス排出量削減目標 - 中期目標（目標年度 2030年度）：2013年度比50％削減 - 長期目標（目標年度 2050年）：温室効果ガス排出量実質ゼロ
--

2. 概要

地球温暖化対策は、市民、事業者、行政等の全ての主体が、日常生活や社会経済活動のあらゆる場面で取り組むことが重要であることから、市民、事業者、行政等の代表からなる「ひろしま脱炭素まちづくり市民会議」を設立し、この市民会議を中心に「脱・温暖化！市民総ぐるみ推進キャンペーン」を展開し、環境イベントの開催等、様々な普及啓発に取り組むものである。 <令和5年度に本事業で実施予定の取組> (1) 「ひろしま脱炭素まちづくり市民会議」の運営 (2) 環境イベント「脱・温暖化！ひろしま」の開催 (3) セミナー等の開催 (4) 周知啓発ツールの作成等 (5) ポイント制度を活用した環境配慮行動の推進
--

3. 根拠法令等

なし

4. 実施内容等

(1) 「ひろしま脱炭素まちづくり市民会議」の運営 「ひろしま脱炭素まちづくり市民会議」を開催し、本事業で推進する取組等について協議を行った。 (2) 環境イベント「脱・温暖化！ひろしま2024」の開催 地球温暖化の現状やその対策について、市民、事業者等の理解を深めるとともに、全ての主体が一体となって地球温暖化対策に取り組むという機運の醸成を図ることを目的に環境イベント「脱・温暖化！ひろしま2024」を開催した。 <概要> ・日時 令和6年1月19日 ・開催形式 オンライン ・参加者 約80名 ・内容 「日本のエネルギー政策の現状と課題ーカーボンニュートラルに向けて」 (3) セミナー等の開催 ア 省エネルギーに関するセミナー 日常生活における省エネルギー行動を促進するため、主に小学生を対象としたセミナーを開催した。 <概要> ・日時 令和5年7月30日 ・場所 広島市まちづくり市民交流プラザ ・参加者 88名 ・内容 「らんま先生」による省エネルギーなどに関する講演、水を使った実験、空気砲体験 イ ワークショップ 日常生活における省エネルギー行動を促進するため、主に中学生・高校生を対象としたワークショップを開催した。 <概要> ・日時 令和5年8月9日 ・場所 マツダ株式会社広島本社 ・参加者 23名 ・内容 マツダミュージアム見学、ミニワーク、講演 (4) 周知啓発ツールの作成等 ア 映像、ポスター等の制作等 市民等の地球温暖化対への関心を高めるとともに、一人一人に具体的な行動を起こしていただくため、アストラムラインのラッピング車両の運行を行うとともに、啓発ポスターを制作し、主に市内の公共施設等に掲出を行った。 イ ウェブ広告及び雑誌広告の制作 20～30台の若い世代への普及啓発を図るため、インスタグラムや本市域で販売される雑誌に広告を掲載した。 ウ 映像教材等の制作 市民、事業者等の地球温暖化への意識向上を図るとともに、地球温暖化対策のための取組の実践につなげるため、啓発冊子・映像を制作し、各種イベントで配布するとともに、出前講座等で放映した。 エ 環境イベント等における普及啓発 既存の環境イベントのテーマに合わせたチラシ等の制作やインターネット上で省エネルギー相談の実施、ZEHへの宿泊体験の実施などによる普及啓発を実施した。 オ ブルーカーボン啓発媒体の制作 市民を対象とした、ブルーカーボンに関する啓発リーフレットを制作し、市民・事業者等に配布した。 (5) ポイント制度を活用した環境配慮行動の推進 市民等の行動変容を促し、省エネルギー対策を推進するため、環境に配慮した行動に取り組んだ市民等へ広島広域都市圏ポイントを付与した。 (6) 市民意識調査の結果 「常実践している」と回答した人は、27.9％であった。
